

日本選抜選手ら闘志

あす岐阜市で日仏慈善ラグビー

県庁訪問



古田肇知事(左から3人目)に、試合に向けた意気込みを語ったトップリーグ選抜の日和佐篤選手(同2人目)ら関係者＝県庁

2日に岐阜市長良福光の長良川競技場で行われる「バローグリープ presents 日仏ラグビーチャリティマッチ2019」F

OR ALL復興」(岐阜新聞社、岐阜放送後援)に出場する、日本のトップリーグ選抜の関係者らが31日、県庁を訪れ、古田肇知事に試合を前にした意気込みを語った。訪れたのは、トップリーグ選抜のデープ・ディロンヘッドコーチ(神戸製鋼)と日和佐篤主将(同)。ディロンヘッドコーチは「日頃はリーグで競い合う選手たちだが、一丸となり良い戦いができそう」と手応えを口にした。主管する県ラグビー協会の田代正美会長

や、男子15人制日本代表の薫田真広強化委員長(各務原市出身)らも同席。薫田強化委員長は「(今秋、日本開催の)ワールドカップのセレクション(選手選考)の一環でもある」と期待。古田知事も「長い神戸製鋼をはじめ

各チームの主力らが顔をそろえた。対するはP14の強豪・ASMクレルモン・オーヴェルニュ。 (富樫一平)